

スリランカ

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日 : 2015年 1月
- 調査場所 : コロンボ県 モラトゥウ市
- 調査対象 : ウィジェラトネ(仮名)さんの一家
- 為替レート : 1円 ≒ 1.11 スリランカ ルピー (2015年1月平均値)



●コロンボ県 モラトゥウ市

コロンボ県の南端に位置する中都市で、コロンボ中心街からは約18kmの距離にある。オランダ時代に家具製作の技術がこの地方に伝えられ、現在でも家具の町として有名。家具製作に加え、木材加工・運搬・木工などの地場産業も盛ん。古くからの工業地区でもあり、縫製、医薬品、製菓などの工場がある。コロンボ市へバスや列車で通勤・通学可能なので、住宅地としても開発が進んでおり、近年では高層アパート、ショッピングセンターなどの建設も目立つ。市内には、モラトゥウ工科大学やアーサー・C・クラーク近代技術研究所などがあり、学術都市としても知られている。

ウィジェラトネさんの一家



家族構成	夫: ウィジェラトネ(45歳) 妻: (43歳) 次女: (21歳、家事手伝い(婚約中)) 三女: (16歳、11年生)
世帯収入	42,000 ルピー / 月 夫: 30,000 ルピー / 月 妻: 12,000 ルピー / 月
職業	夫: 大工 妻: 雑貨店経営
勤務日数	夫: 週6日

夫: ウィジェラトネ (45歳)

職業: 大工

月収は30,000 ルピー

地元出身で、
12人兄弟の末っ子。
父親も大工だった。

12才まで学校に行き、
その後は父親の大工
仕事の見習いをした。

今は家の近くの作業場で
働いている。

日曜日に一杯飲むのと
孫と遊ぶのが楽しみ。

妻: (43歳)

職業: 雑貨店経営

雑貨店の月収は
12,000 ルピー

地元出身で、5人兄弟の長女。
父親は大工をしていたが、現在は
三輪タクシーの運転手をしている。

専業主婦だったが、
数年前から家の一部を
改装した雑貨店を経営
している。

雑貨店の収入が
家計の足しになって
いるので嬉しい。

夫婦と次女、三女の4人で住んでいる。結婚した長女も近くに住んでいて、孫たちがしょっちゅう遊びにくる。次女は婚約中。三女は今年で学業を終える予定。

家族の職業

ウィジェラトネさんは平日、歩いて行ける距離の作業場に通って大工仕事をしている。仕事が忙しくなければ日曜日は休み。

妻は数年前より、家の一部を改装した雑貨店を経営している。朝食の材料を買いに来る人たちがいるため、店は朝6時から開けている。

商品の仕入れも妻が行っており、店には、小さな石けん、スパイスの小袋、カレーに欠かせないトマト・タマネギ・ジャガイモ、ココナツ油、小腹が空いた時のためのインスタントヌードル(カレー味)、ビスケットなど、BOP層の生活必需品が何でも揃い、近所の人たちに重宝がられている。



近所の大工作業場



自宅で妻が経営している雑貨店の軒先

家計収支

収入

一家の月収は、ウィジェラトネさんの大工作業場での賃金が約3万ルピー、妻が経営する雑貨店からの収入が約1万2千ルピーとなっている。作業場の賃金は、出来高ベースで支払われ、出来高は顧客からの注文の量に左右されるので一定していない。

支出

食費が主な出費である。

次女が交際相手と長電話をするため携帯電話代がかさんでいるが、婚約中なので仕方がないと考えている。

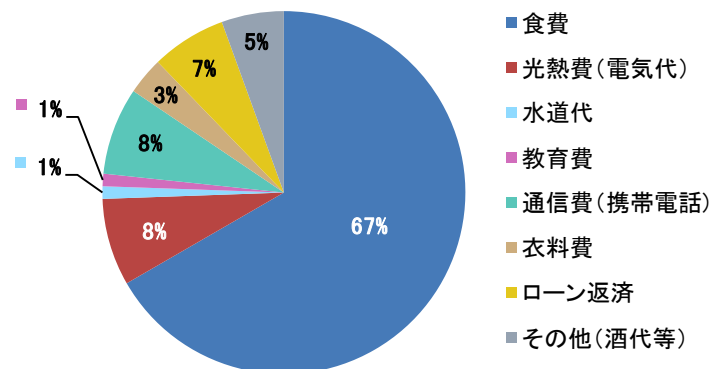
雑貨店の初期投資用2万ルピーの返済金が毎週700ルピーとなっている。返済期間は10か月間の予定。

貯金は全くなく、お金が急に必要になった時は、職場や親戚から借りることもある。装飾品(貴金属品)は質に入れたままになっているとのこと。

月間支出内訳

費目	金額(ルピー)
食費	30,000
光熱費(電気代)	3,500
水道代	500
教育費	500
通信費(携帯電話通話料金)	3,500
衣料費	1,500
ローン返済	3,000
その他(酒代等)	2,500

月間支出の比率





住居

自宅は持ち家で平屋建ての3LDK。15年前に兄から資金協力を得て建てた。ウージェラトネさんは左官や大工として家作りに参加した。壁はコンクリートブロック、床はセメント敷き、屋根はアスベストとメタルシートを使っている。

今現在、窓やドア、天井、壁の塗装などはできておらず、半完成の状態。収入に余裕がある時に作業をしようと思っているうちに時間が経ってしまった。大工なのに窓やドアを作っていないのは困ったことだと感じているが、なかなか余裕がないという。

数年前より、妻のアイデアで、部屋の一つを雑貨店として使用している。

自宅	持ち家／平屋建て3LDK
築年数	15年
敷地面積	約115m ²
電気	引かれている
水道	引かれている

- 部屋①にはベッドが2つ置かれており、娘2人の寝室になっている。部屋②は物置き状態になっており、来客用の長椅子などが置かれている。



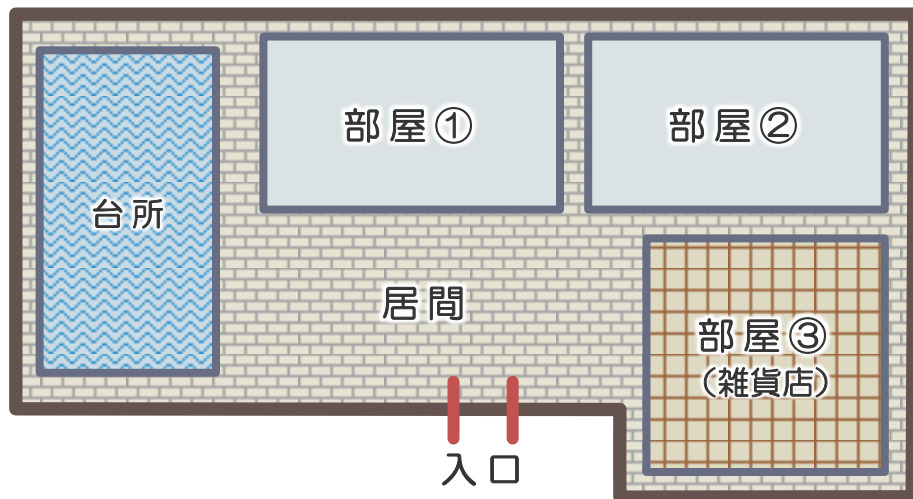
台所



部屋①



部屋②



家の外観



居間



部屋③(雑貨店)

- 部屋よりも居間の方が涼しいので、夫婦は居間で寝起きしている。居間には夫婦の結婚写真、子供が小さい頃の写真、長女と婚約者の写真が飾られている。

所有家財・家電製品等

テレビや携帯電話、冷蔵庫、アイロン等を所有している。空調は天井扇風機のみ。洗濯機は所有していない。

品名	所有の有無	品名	所有の有無
テレビ	○	冷蔵庫	○
携帯電話	○	洗濯機	×
パソコン	×	アイロン	○
DVDプレーヤー	×	空調	○(天井扇風機)
ステレオ	△(故障中)		



食事

食事は、基本的に3食とも「ご飯」と「カレー」である。

【朝】ご飯・パンとカレーや和え物。

〔例〕

- ココナツサンボール
(ココナツフレーク・チリパウダー・鰹節の和え物)
- 豆のカレー
(レンズ豆を煮て、ココナツミルクを入れたもの)



削ったココナツを絞ってミルクを取る様子

【昼】ご飯とカレー。

〔例〕

- 野菜のカレー
(ナス、かぶ、カボチャ、オクラなど)
- チキンや魚のカレー
(スパイスを沢山入れて辛く煮る。)
- ポークカレー、ミートボール(日曜日)



スパイスをつぶす時に使う杵と臼(小)



粉を挽く時に使う杵と臼(大)

【調査日の昼食メニュー】

- ご飯
- ゆで卵
- カレー3種類
(鳥レバー、ポーク、レンズ豆)



ご飯(左)、鳥レバーのカレー(右)



ポークカレー(左)、レンズ豆のカレー(右)

【夜】ご飯またはSTRINGホッパーとカレー。

STRINGホッパーは米粉を水で練って、トコロテン式に押し出し麺にして蒸したものだ。これをカレーと混ぜて食べる。



食事は薪で調理する。薪で炊いた方がおいしいカレーになる。



時間

ウィジェラトネさんは平日、歩いて行ける距離の作業場に通って大工仕事をしている。仕事が忙しくなければ日曜日は家で過ごす。お金の余裕があれば、日曜の朝、近くのお店で友人とヤシ酒を一杯飲むこともある。その後は、孫と遊んだり、テレビを見たりして過ごすことが多い。妻は朝5時半に起きて、6時には雑貨店を開ける。日中は雑貨店にお客が来れば対応し、商品の仕入れにも行く。タイミング良く食事の準備もしようと心掛けているが、時々両立が難しいと思うこともある。平日と休日のスケジュールはあまり変わらないが、休日はカレーを一品多く作ることがある。満月の日には皆でお寺に行く。三女は近くの公立校に通っており、日曜日には仏教の日曜学校に行く。

時刻	ウィジェラトネさん	妻
05:00		起床
06:00		雑貨店を開店 朝食の準備
07:00	起床・身支度 朝食	掃除・片付け 雑貨店にお客がくれば対応
08:00	仕事	↓
09:00	↓	↓
10:00	(10時頃にお茶休憩)	問屋に商品を仕入れに行く
11:00	↓	↓
12:00	↓	昼食の準備
13:00	自宅で昼食	↓
14:00	仕事	昼食
15:00	(15時頃にお茶休憩)	雑貨店にお客がくれば対応
16:00	↓	↓
17:00	↓	↓
18:00	帰宅・シャワー・テレビ	↓
19:00	↓	夕食の準備
20:00	夕食・テレビ・休憩	↓
21:00	↓	夕食・テレビ
22:00	就寝	就寝

■ 訪問後の編集後記 ■

にぎやかで楽しそうな家族で、ウィジェラトネさんのオープンな性格が印象的だ。スリランカの仏教徒には珍しく「そりや日曜に一杯飲むのが楽しみだよ！」と言ってみたり、「貯金なんてないよねえ・・・全く！」と答えたり、明るく気さくな人柄でインタビューに応じてくれた。小さな孫(長女の子供)をかわいがっている様子が微笑ましかった。

妻は雑貨店を経営しているが、経営についてウィジェラトネさんは口出ししないようにしている様子であった。自由にやってみては、と思っているに違いない。雑貨店にはBOP層向けの様々な生活必需品がそろっており、近所の人たちに重宝がられている。妻は、「家の窓やドア、壁の塗装なども早くやりたいし、店も大きくしたいけど、まずは娘を結婚させなければ」と言う。年頃の娘の携帯電話代がかさむ、というのはどこの国でも同じようである。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。